

さんらいずにゅうす

学校だより

2025年3月11日
3学期号
日出学園小学校
校長 荻原 巖

ごあいさつ

校長 荻原 巖

典型的な冬型が続いた今年の冬は、寒波の影響で日本海側では大雪、この関東地方では乾燥した晴天が続きました。雨天ではないので休み時間も含め外での活動の時間が確保できました。逆に、空気が乾燥しているとインフルエンザ等の感染症の流行が心配されましたが、幸い流行することなく学年末を迎えられそうです。保護者の皆様には、この1年間学校教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。コロナ禍という言葉が過去のものとなり従来の学校教育活動ができた1年だったと思います。12月にはインフルエンザの流行が見られ学級閉鎖のクラスも出ましたが、3学期になり感染症の発症報告も少なく予定通り学校教育活動を進めることができました。年間を通して学校行事は天候にも恵まれ、児童は学年に応じた態度でそれぞれが行動できました。立場が変われば自ずと行動も変わり良い経験をしたと思います。4月には6年生は中学入学、在校生はそれぞれ進級し1年生を迎えます。日出っ子としてきっと活躍してくれると思います。進級した姿が楽しみです。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

この3月をもって体育担当の円谷先生と3年2組担任の増井先生がご退職されます。円谷先生は学級担任、理科専科、体育専科と日出学園小学校で21年間いろいろな立場で小学校教育に携わってきました。ご家庭の都合で退職することになり、とても残念です。増井先生は産休代替として2学期から学級担任をしていただきました。お疲れ様でした。お二人がそれぞれの道でご活躍されることをお祈りいたします。

ご退職される先生からのメッセージ

日出学園での21年間はあっという間でした。良き先生、賢くかわいい子どもたち、教育熱心な保護者が集まる学校で、楽しく過ごした記憶しかありません。自分の教え子が同じ学校で教員として働くという素敵な時間もありました。この学校に出会えたこと、働くことができたことに感謝しております。ありがとうございました。

校訓の「なおく、あかるく、おつまじく」を今後の生活でも体現していきたいと思います。

円谷 晃史

日出学園小学校で過ごした1年は、とても充実して楽しかったです。明るく話しかけてくれたり、一緒に遊んだりしてくれて、たくさん元気をもらいました。皆さんと過ごした日々は、先生の宝物です。日出小の皆さんの素敵な所は、明るく挨拶をしてくれる所と、何事にも一生懸命取り組む所だと思っています。運動会や日出祭などの行事のときには、皆さんの頑張っている姿を見に行きたいと思います。1年間ありがとうございました。

増井 幸治

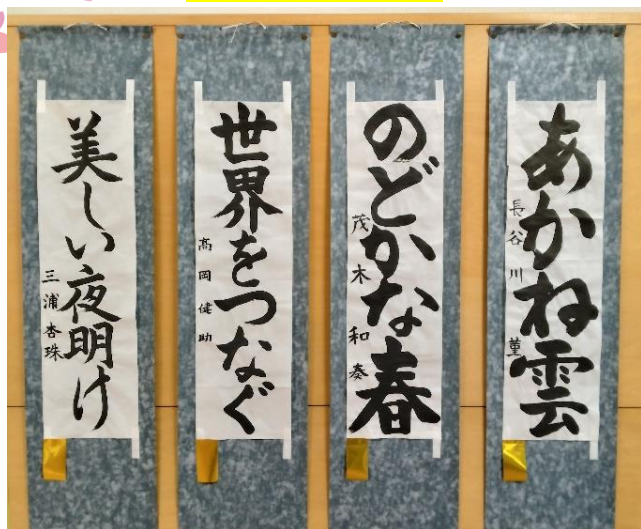
卒業制作が完成しました！

今年度は「日出学園90周年」をテーマに制作しました。日出祭の歌唱、運動会のリレー、水泳大会、きょうだい遠足の4つの行事のイラストに加え、中央のひよかつぱ・ひのぼっぽが目を引く、日出学園らしさが詰まったデザインになりました。絵柄に合わせて細かく割ったタイルを隙間なく貼るのは大変な作業でしたが、6年生が一丸となって取り組み、素晴らしいものになりました。校内に設置されるのが楽しみです。



2024年度 書き初め展

金賞受賞作品



金賞 6年 三浦杏珠

5年 高岡健助

4年 茂木和奏

3年 長谷川 薫

銀賞 6年 花井みずき

糸久博晃

5年 大和久紗蘭

青柳有咲

4年 青山凛大

灰井朝基

3年 長島琢翔

銅賞 6年 南 玲衣

小林 咲

5年 廣田結衣

4年 中田夕香子

3年 大西花南

岡本 樹

今回は、品のある作品が多かったです。特に6年生は、賞をつけるのが難しいくらい、上手に書けておりました。

吹奏楽クラブ初の校外演奏

「ヒューマンフェスタいちかわ」



本校の吹奏楽クラブが12月8日(日)に【ヒューマンフェスタいちかわ 2024】という人権週間記念イベントに出演しました。他の出演校2校が合唱の発表をした後、日出学園小学校だけが吹奏楽の発表でした。本番ではどの練習よりも堂々とした迫力のある演奏を披露し、会場は万雷の拍手に包まれました。後日、その演奏を会場で聴いていた観客の方から「予想をはるかに上回る演奏!感激しました!」とお手紙をいただくほど聴衆の心に残る演奏が出来ました。

県内10校の私立小学校が一堂に集う

「千葉県私立小・中学校造形展」

in ニッケコルトンプラザ



今年度は数年ぶりに全校児童による共同制作に取り組みました。「日出学園 90 周年」をテーマに児童が図案を考え、ペットボトルキャップに色を塗ったものをパネルに貼り付けて、大きな絵を作りました。大量のペットボトルキャップを貼るのは大変でしたが、学年の枠を超えて協力しました。そのほかにも、紙粘土や木工など、各学年が図工の授業で取り組んだ立体作品をたくさん展示しました。休日は多くの方が来場し、賑わいを見せました。

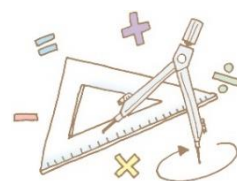
算数検定 算数科の取り組み

今年度より、小学校を会場として算数検定を実施しています。初の試みにも関わらず全学年で100名を超える希望者が受験しました。

算数の学習は基本的に“積み重ね”です。前学年で学んだ計算方法や数学的な考え方を理解していないと次の学習への歩みが止まってしまいます。

今回、算数検定を取り入れたのも既習内容の定着度を図り、児童に“学びへの自信”をつけさせることが目的です。また、自学年より上の級にチャレンジしている児童も数名見られました。

今後も算数を通して、学びへの姿勢を高めてほしいと願っています。



3学期もたくさんの行事がありました！

すごい！けん玉せんせい(1年生)

1年生は、3学期の生活科の授業でさまざまな昔遊びを体験しています。

日出学園小学校には、けん玉が得意な先生がいるということで、各クラスで遊び方を教えてもらいました。「鉛筆を持つように握るといいよ。」とアドバイスを頂き、やってみると、「できた！」という声とともに笑顔が増えてきました。

授業が終わるころには、ほとんどの子どもたちが一人で皿に乗せることができるようになりました！けん玉先生、ありがとうございました！



遊びの国(2年生)

遊びの国では、2年生が1年生のために手作りの魚釣り、ボウリング、射的、迷路等を使って遊ばせてあげていました。学年が1つしか違いませんが、2年生はお兄さん、お姉さんらしく接していてとてもいい雰囲気でした。また、上手にできた子には、景品を用意してプレゼントをしていました。2年生にとって、どうしたら相手を喜ばせる事ができるだろうと真剣に考え、心が成長した取り組みになったと思います。



なかよし会(3年生)

日出学園幼稚園の年長組を小学校に招待して行った「なかよし会」。まず、案内役の子たちが校内を案内しました。やさしく声かけをしながら校内を歩く姿は、とても頼もしかったです。次は各クラスの出し物。1組は輪投げ、2組は読み聞かせ、3組はボウリングをしてあげました。遊びの後には折り紙で作った首飾りをプレゼントしました。とても喜んでもらえ、3年生も嬉しそう。年長組の面倒をしっかりと見てあげていて、大変立派でした。4月に入学してくれるのが、とても待ち遠しいです。



組紐職人を迎えて(4年生)

講師に卒業生で創業130余年の家業を受け継ぐ組紐職人の福田隆太氏をお呼びし、4年生を対象とした組紐の授業を行いました。伝統的工芸品について勉強していた子どもたちは実際に職人の話を聞き、実物に触れたことでより興味を深めた様子でした。子どもたちからの「もっと他の伝統的工芸品についても勉強したい!」や「職人を目指そうかな」という感想を聞き、学習において実際に見たり聞いたり体験することの大切さを改めて感じました。



美しい日本語の話方教室(5年生)

1月、劇団四季の俳優の皆様が5年生へ向けて「美しい日本語の話方教室」を開いてくださいました。話し言葉としての日本語を美しく話すために、四季で培われてきた方法論を使って授業をしてくださいました。俳優の方々の聞き取りやすく、テンポのよいお話にみんな食い入るように聞いていました。美しく話すためには、「母音」に気をつけて話す。子どもたちも一緒に、大きな口を開けて「おはようございます」を「おおおうあいあう」と母音だけで発声練習し、最後には歌声を多目的ホールに美しく響かせてくれました。



いざ！ディズニーランドへ(6年生)

「今年の卒業遠足は、ディズニーランドです！」学年主任からの発表に6年生は大盛り上がり。それもそのはず。コロナ禍で行先を変更されていた卒業遠足が、5年ぶりにディズニーランドに戻ってきたからです。2月25日当日は、突き抜けるような青空のもと、男女・他クラス混合の自分たちで作ったグループで、園内をまわりました。アトラクションには5〜6程度しか乗れませんが、6年間ともに過ごしてきた友達との特別なディズニーランド。家族で行くのとはまた違った思い出が作れたことでしょう。

